

八鹿青溪校区小中一貫教育だより

八鹿青溪校区小中一貫教育 校長会発行

令和4年12月12日(月)

第2号

6年生の中学校登校について (年間3回実施)

毎年、6年生は、年3回の中学校登校を行います。中学校生活を体験することで、学習はもちろん、部活動や中学校の先生のことなど実際に見聞きしながら、来年4月からの中学校生活に備えます。また、八鹿青溪中学校区の4小学校(高柳、八鹿、伊佐、宿南)の6年生が集まることで、学校間の交流やお互いを知ることにも繋がります。この小・中学校の縦の連携と、6年生どうしの横の繋がりを深めることで、スムーズに中学校への接続を行うことが目的です。

今年度は、すでに7月と10月の2回、6年生の中学校登校を実施しました。ここでは、その様子についてお知らせいたします。



◇第1回6年生登校(7月5日〔火〕)

第1回目の中学校登校は、1学期の7月5日(火)に行いました。

4校の6年生がA～Cの3クラスに分かれて、中学校で1日を過ごしました。午前中は、数学、音楽、国語の授業をひとコマ50分で行いました。中学校の先生や他校の小学校の先生の授業を受けました。また、給食や清掃など、中学校で現在行われている方法を体験しました。清掃活動は、中学生と一緒に、そうじの仕方も教えてもらいました。基本的に無言清掃です。

午後は、体育館で行われた但馬中学校総合体育大会の壮行会を見学しました。ユニフォーム姿の中学生は、凜とした姿で大会に懸ける決意も熱く立派であり、児童には憧れる存在に感じられたことでしょう。



中学校の先生による音楽授業



他校の児童と一緒に



壮行会に参加



部活動を見学

◇第2回6年生登校(10月28日〔火〕)

第2回目の中学校登校は、10月28日(火)に行いました。

午前中は、英語、技術、理科、家庭科の4教科を行いました。もちろん50分授業です。

午後は、中学校2年生が6年生に八鹿青溪中学校の校歌を指導しました。まず、少人数のグループに分かれて、各場所で伴奏に合わせて歌う練習を行い、その後、体育館に集まってみんなで歌いました。丁寧に教える姿に、中学生の頼もしさを感じました。中学校2年生は、来年4月に最上級生の3年生として、この6年生の児童を迎えます。校歌の練習を通して交流することもできました。



中学校の先生による理科授業と英語の授業



中学2年生による校歌



グループで校歌の練習

※第3回目の中学校登校は、令和5年1月24日(火)に入学説明会を兼ねて行う予定となっています。



【第2回目の中学校登校を終えて・・・児童・生徒の感想】

【授業について（児童の感想より）】

- ☆どれも楽しめたり、初めて知ったことや、やってみたことがなかったことなどがたくさん経験できた。
- ☆百人おどしで、みんなの距離がもっと縮んだ気がしました。外国語でも、友達の好きなものや、なりたいたいものを知ることができてよかったです。技術は、やったことない経験ができてよかったです。
- ☆中学校は思ったよりも楽しそうだったので、早く中学校に行きたいです。
- ☆みんなと一緒にできると思ったので、中学校でももっとがんばっていきたいです。
- ☆英語の時間にたくさんの子とかかわりあえたので良かったです。

【校歌の練習について（児童の感想）】

- ☆2年生の人にも教えてもらいながら覚えることができました。
- ☆上級生の方がすごく優しく、来年来るのが楽しみです!
- ☆中学2年生の先輩が、優しく、分かりやすく、1人1人にしっかりと教えて下さって、嬉しかったです。歌詞を覚えたり、歌うコツを知ったり出来たので良かったです
- ☆2年生と歌える機会はあまりないので、2年生と歌えて楽しかったし、うれしかったです。

【授業について（中学生の感想より）】

- ☆6年生に校歌を教えるのは難しかったです。でも、6年生がすごくうまいし、話もよく聞いてくれてやりやすかったです。
- ☆今日は6年生登校で少し緊張しました。みんなが頑張ってくれていて、うれしかったです。
- ☆6年生に教えるのが楽しかったです。教えるのが上手だと言ってくれてうれしかったです。

児童の感想にもあるように、児童の皆さんは、中学校への期待と不安を抱きつつ、小学校での生活を過ごしていることがわかります。中学校登校による体験を通して、少しでも不安が期待や心構えに置き換わっていくことができれば、よりスムーズな中学校生活への移行ができると感じます。加えて、児童と中学校の先生が、互いにその様子を知ることは、今後の人間関係を構築する上での大切な要因となります。そういう意味でも6年生登校の効果が現れると期待します。



八鹿青溪中学校区小中一貫教育各部会の活動報告〔中間〕

【学び部会】

「し・ば・ふ・か・の・わ」の取組について交流し、「授業中の姿勢」、「自主学習の取り組み」、「対話を重視した授業」、「タブレットを活用したふり返し」など、各学校での実践が報告された。それぞれの良いところや工夫されているところを共有し、参考にしながらレベルアップを図ることが話し合われた。

【ふるさとそうあん部会】

コロナ禍では、地域でも小中の児童生徒が一緒になって活動することが困難な状況であった。その中で、「そうあんくんの日」の取り組みを意識しながら、家庭での生活を考えさせた。また、冬休みを迎えるにあたり、「お手伝い大作戦」をどの学校でも取り組むことにしている。

【学年部会】

前期部会（小学校1年～4年）、中期部会（小学校5年～中学校1年）、後期部会（中学校2年～3年）それぞれの学年に分かれて、「めあてとリンクしたふり返し」、「対話を組み入れた授業展開」など、各学校で現在取り組んでいる内容について話し合いをした。加えて、前期から後期までの縦の繋がりを意識して進めていくことが大切であるという意見が出された。